

LOVE

愛に満ちた利他の精神で愛が溢れる未来へ



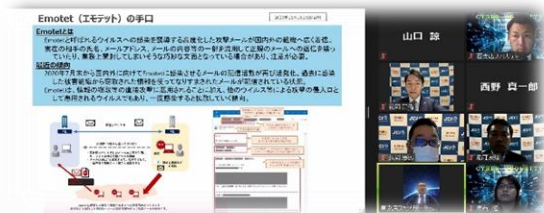
【特集】

- ・ 委員会紹介～地球市民委員会～
- ・ 日本青年会議所サイバーセキュリティ事業 5 / 28
- ・ 第2回じゃがいも会ゴルフコンペ 6 / 9
- ・ 第2回佐賀ブロックアカデミー 6 / 20
- ・ 6月例会 6 / 21
- ・ 新入会員バッチ授与 ・ 新入会員配属先
- ・ 麗水 J C 交流事業会議 6 / 23
- ・ ゆめのかたちアーカイブ
- ・ 姉妹締結 50 周年特集

公益社団法人日本青年会議所 サイバーセキュリティ事業

～2021年5月28日（金）～

日本青年会議所・安全保障確立委員会によるサイバーセキュリティ事業が開催されました。唐津青年会議所からは吉井大樹くんが安全保障確立委員会の副委員長として出向しています。サイバーセキュリティ事業では、①サイバー攻撃の種類とその脅威について②サイバーセキュリティ体制構築の必要性とその手法についての2つのテーマで経済産業省サーバーセキュリティ課の西野様、JPCERT/CCの輿石様によるパネルディスカッションが行われました。セキュリティ攻撃を受けた際にどう行動をしていくかをゲーム形式で学び、参加した方が自社にインプットできる工夫をこらした事業が行われました。



第2回じゃがいも会ゴルフコンペ

～2021年6月9日（水）～



佐賀ロイヤルゴルフクラブにて第2回じゃがいもゴルフコンペが開催されました。梅雨とは思えないほどの晴天で、ゴルフを通し交流を深めることが出来ました。コロナも徐々に落ち着き傾向にあり、今後はOB交流の機会も増やしていきたいと思っておりますので、多くのみなさまのご参加をお待ちしています。



第2回佐賀ブロックアカデミー

～2021年6月20日(日)～



佐賀ブロック協議会アカデミー・LOM支援グループ委員長として出向している玉置奈実子君の第2回アカデミー事業が開催されました。当日のセミナーはZoomを利用したの事業となりましたが、根幹となる理念や目的の意味を丁寧に伝えて頂き、積極的な意見や質問が出ていました。また新しいセミナーのため、アカデミー対象者ではないメンバーでもとても学びや気づきを得る機会となりました。今後もアカデミー事業が開催されますので、今回参加できなかったメンバーは次回是非参加をしてみてください。

※参考 JCI Discover セミナーとは

各地会員青年会議所（LOM）の青年会議所メンバー向けに設計されており、各種モジュールを通じて、ディスカッションを行いながら、青年会議所で出来る経験を「旅」になぞらえて、青年会議所とは何か、青年会議所の存在する理由を発見しその使命を探ります。リーダーに必要な要素、および青年会議所を通じて向上できる能力を理解します。そして、どうすればリーダーになれるのか、今の世界に持続的なインパクトを生み出すにはどうすればよいかを発見します。

6月例会

～2021年6月21日(月)～



祝!!!約1年半ぶりに商工会議所501・502号室で例会が開催されました。全員が現地での参加とはなりませんでしたでしたが、会場参加やWeb参加をハイブリッドという会議の方法で開催ができました。

6月例会は次年度理事長選考委員会選挙があり、正式入会となりました新入会員バッチ授与も行われました。委員会タイムでは担当の指導力・経営開発委員会さんが会員拡大について、委員会ごとのグループワークにて、ニューフェイスの情報収集を行いました。会員数減少と毎年のように聞きますが、本年もしっかりとメンバー全員で会員拡大に向け行動を起こしていきますので、情報をお持ちの方は指導力・経営開発委員会までよろしくお願い致します。そして7月には次年度理事長選任、8月には理事メンバーも決まっていきます。着々と次年度へ向け歩みだしていますが、今年度もまだ半分を過ぎたところです。しっかりと次年度へスムーズな引き継ぎができるようにしっかりと頑張っていきたいと思っております。

新入会員バッジ授与



新入会員配属

○会員交流委員会

井上 和樹 君・田中 伸知 君・吉富 慎也 君

○指導力・経営開発委員会

田川 竜好 君・中村 沙綾 君

○地球市民委員会

田中 寛人 君・百武 俊輔 君・山下 修平 君

○青少年交流委員会

浦田 達徳 君・原 文香 君

○まちづくり委員会

下西 功 君・中村 俊樹 君

○総務・広報委員会

坂本 翼 君・松本 幸貴 君

愛し、満ちた利他の精神で愛が溢れる未来へ

唐津青年会議所・麗水青年 会議所交流事業会議

～2021年6月23日(水)～

事務局1階にて唐津青年会議所・麗水青年会議所交流事業会議が開催されました。JCニュース3月号でも取り上げましたが、本年は麗水青年会議所姉妹締結50周年を迎えます。新型コロナウイルス感染症の心配もあり、開催方法などはまだまだ不透明ではありますが、麗水青年会議所との連絡を密に行いながら開催成功に向け会議を行っていきます。開催方法が決まりましたらご参加・ご協力よろしくお願い致します。



ゆめのかたちアーカイブ

～2016年6月掲載記事～

あの頃を振り返ってみて・・・。
2021年度副理事長 伊藤正一郎 君

愛に満ちた利他の精神で

堀江氏の講演内容にあったように、これまで東京を自指すのではなく、我々が住み暮らす唐津に誇りを持ち、もつて誇れるような観点で海外にターゲットを向けたいこと、また、即時に行動に移し、実行していくことを強く言われました。



去る6月11日、第41回佐賀ブロック大会にて主幹します唐津青年会議所の事業「国」に守ってもらおうという概念はもととして、JCニュースから巻き起こす地域再興とみな。佐賀さくら（さくら）を開催しました。講師にホリエモンと堀江貴文氏をお招きし、唐津・佐賀をビジネスの面から活性化していく所謂「ユニバーサルビジネス」の観点に基づいた講演をしていただきました。

第41回佐賀ブロック大会のからつビジネスセミナー

遡ること5年前、故郷からつで佐賀ブロック大会が開催された際、当時、LMD委員会の副委員長であった私は、メインフォーラムの企画・立案を担当させていただきました。森晋策理事長の「からつでブロック大会をやるからには大きな花火（企画）を打ち上げたい」という意思を受け、経験も浅く右も左も分からない若輩者だった私は、理事長と担当の小松三郎OBに恥をかかすわけにはいかない！との一心だけで実働していたことを思い出します。講師である堀江貴文氏との連絡がうまく取れず、委員長を飛び越えて、担当室長に直接泣き言や弱音を吐いたこともありましたが、メンバーのサポートを受け、挫折することなく講演を成功させることができました。講演終了後に小松三郎OBと無言で抱き合い、讃えあったことは今でも鮮明に覚えています。大懇親会では、背骨が抜かれたように疲弊するLMD委員会メンバーを鼓舞するように禅一丁で太鼓を叩く野崎正純君の姿に「自分はまだまだ野崎君の領域には達していないな」と更なる高みを目指す素晴らしい機会となりました。



今このセミナーを開催できたのは、ひとえに唐津青年会議所の先輩方をはしめとするご協力を賜りました関係者の皆様のおかげです。今後セミナーでの学びを活かし活動していくことで、唐津・佐賀・日本のために反力する所存です。ご協力ご支援まことにありがとうございます。

指導力経営開発委員会
副委員長 伊藤 正一郎



姉妹締結50周年特集

2021 (令和3年) 6月25日 (金曜) 発行

唐津JC国際交流

第9代理事長

第60代理事長

岩本 亨OB × 熊本 茶月



敷華就實

この言葉が始まりだった

スペシャルインタビュー

岩本 亨OBプロフィール

唐津青年会議所第9代理事長。1931年9月4日生まれ。唐津土建工業(株)取締役相談役。麗水青年会議所との姉妹締結へと導かれた理事長です。

全6回に渡り姉妹締結50周年を振り返るための特集記事も今回で最後となります。最終号として今回は50年前と現在、そして10年前と現在を繋ぐために締結時の直前理事長岩本亨OBと締結40周年の理事長鶴丸修OBへのインタビューを行わせていただきました。当時の貴重なお話をお聞きください。



これは「去華就実」という言葉から来ており、これから仲良くしていく唐津と麗水の間に「華」が唐津とその花びらが両国の地域社会へ「敷きつめられ」、大きな「實(実)」を「贈られる」ことを祈念されて贈られました。この言葉は麗水JCIにも好評で、韓国の書道家が書いた書が唐津市の市長室に飾られています。

1970年福岡で開催されたアジア太平洋地区の会議に出席した際に福岡JCIを通じて麗水JCIから提案が通りました。昔から、唐津と麗水は竹の輸出などで繋がりがあり、麗水側から姉妹JCIの話を持ち掛けられたと記憶しています。当時は唐津JCI内でも姉妹締結に反対する声が強かったのです。そんな中、保利茂先生に相談したところ唐津JCIの例会に参加していた「敷華就実」と言う言葉送ってくださいました。

何故麗水JCIと姉妹締結を行うようになったのか

当時の貴重な資料



姉妹締結を持ちかけられた当時の会長のイム・ヨンギ会長が私の兄弟でした。

兄弟との思い出・関係について

当時は韓国の方が日本語を話していました。戦時中に日本にいた方が多かったので日本語を話せる方が多かったのです。私たちは、日本語と身振り手振りで意思を伝えてました。

麗水交流の際のコミュニケーション方法

姉妹締結前に韓国へ視察に行ったことです。当時、私と大河内明彦君と加茂宏君の三人で韓国に行きました。当時は韓国国内に日本人がいるのは珍しく移動しているだけで注目を集めていました。言葉も話せない中、釜山から汽車やバスを乗り継いで約10時間くらいかけて麗水まで行ったのはまさに冒険のようでした。

麗水交流のなかで一番良かった経験・思い出は



一衣帯水の如く、唐津と麗水は、海峡で隔たれているだけできわめて近接した地域です。50年そしてこれから100年と関係を築いていくためにも、時代は刻々と変化していきますが、敷華就實の言葉を忘れず、お互いにしっかりと話し合い、人と人の交流をしていってください。

今後の麗水交流に期待されること

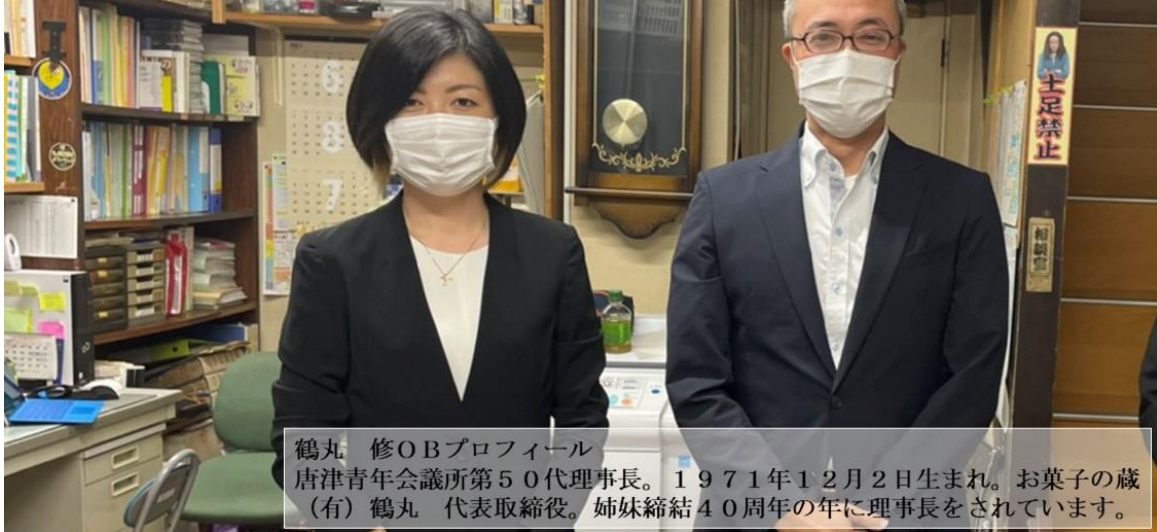
個人的にも互いに唐津と麗水を行き来しました。彼は元々新聞記者でしたが絵を書くのが好きで画家になられた。唐津の地でも個展を開く事ができました。今は亡くなられており、コロナの影響で今は行っていないですが、兄弟のお墓参りには麗水までよく行ってました。

姉妹締結50周年特集

唐津JC・麗水JC交流特集 Vol.6

第50代理事長 第60代理事長

鶴丸 修OB×熊本 茶月



鶴丸 修OBプロフィール
唐津青年会議所第50代理事長。1971年12月2日生まれ。お菓子の蔵(有)鶴丸 代表取締役。姉妹締結40周年の年に理事長をされています。

麗水交流のなかで一番良かった経験・思い出は

交流をしていく中でお酒を飲む席が多いです。で懇親会ですね。お酒の強いメンバーをリサーチして懇親会に備えてました。当時はお酒を飲むことが競争のようになっていました。お酒を飲み交わす分仲良くなっていました。お酒を飲むと意思疎通がしやすくなり、飲みケーションが国境を越えていましたね。

麗水交流の際のコミュニケーション方法

OBの方や市役所の職員の方、時に大学生に協力してもらい通訳してもらっていました。あとはカタコトの英語で何とかやり取りしていました。また当時の担当委員長だった松本隆宏委員長は韓国語を勉強していましたが、当時韓国に行った際は松本委員長の通訳の



みで釜山から麗水までバスとタクシールを乗り継いで行ったこともありましたね。もつと前のOBの方も韓国語を勉強されていたみたいです。



今後の麗水交流に期待されること

難しいことばかり考えず人と人として交流することが大事だと思っています。交流の中で相手を知り、そこから生まれてくるものがある。



そうやってできたものが本当にお互いのためになると思います。国と国や組織と組織にとらわれず個人と個人での関係を築いてください。



編集後記

今回は麗水青年会議所との姉妹締結の歴史において重要な年に理事長をされたお二人の方からお話を聞く機会を頂きました。本当に貴重なお話をありがとうございました。お話しを聞くことで多くの気づきを得ることができました。交流においては人と人の交流が大切という事もその一つです。本年度熊本理事長が掲げる利他の精神をもって人と人の心が通じ合った交流をしていきたいと思います。

地球市民委員会委員長
米村 和矩

姉妹都市50周年特集記事の第5弾を唐津青年会議所ホームページとSNSにて配信させていただきました。今回は来年姉妹都市締結40周年を迎える唐津市と麗水市において取り組まれてきた交流事業について紹介いたします。是非ご愛読お願いします。

ホームページ：<http://www.karatsucity.com/jc228/yosu.html>

地球市民委員会 委員長 米村 和矩